

平成30年播種（平成31年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2月10日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要（中旬区・下旬区共通）

供試品種	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦		シラネコムギ
		夏黄金

（中旬区）

- ・播種期：10月18日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：尿素磷加安 777 号
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)

（下旬区）

- ・播種期：10月29日
- ・播種量：1.0 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：（中旬区と同じ）

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換 4 年目（前作大豆）

2. 気象概況〔12月～2月中旬〕（表1，図1）

- ・平均気温は，低温傾向と高温傾向の期間が交互に現れ，期間中では概ね平年並であった。
- ・降水量は，12月第2半旬に低気圧の影響によりまとまった降雨があったが，期間中は少雨傾向であった。12月末～1月上旬と1月後半～2月初頭にかけて積雪が継続した。
- ・日照時間は，期間中概ね平年並で経過した。

表1 気象経過（12月～2月中旬） 古川 AMeDAS

	平均気温		積算降水量		積算日照時間	
	本年 (°C)	平年差 (°C)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (hr)	平年比 (%)
12月上旬	3.8	-0.4	12.0	77	42.9	109
12月中旬	1.9	-0.4	24.5	194	35.2	104
12月下旬	1.0	-0.7	5.0	33	43.6	103
1月上旬	0.8	0.5	0.5	3	50.3	132
1月中旬	0.5	0.7	0.0	0	41.2	100
1月下旬	-0.8	-0.4	6.0	40	41.7	86
2月上旬	0.3	0.4	9.5	75	57.4	120
2月中旬	0.9	0.4	8.0	46	49.2	97

注1) 気象庁：古川AMeDASデータから引用

注2) 平年差(比)は古川AMeDAS平年値データとの比較

3. 生育概況

1) 2月10日現在の生育状況（表2）

- ・中旬区は，大麦・小麦ともに草丈・茎数・葉数ともに平年値を上回り，生育量は平年より多かった。
- ・下旬区は，中旬区と比較して，草丈で60～80%，茎数と葉数は50～70%の生育量となった。茎数は，中旬区の平年値を超えた。
- ・中旬区の茎数は，1000本/m²を超え，下旬区でも上旬区の平年値を上回った。

2) 幼穂分化状況（表2）

- ・中旬区の大麥の幼穂長は1.3～1.5mmで平年より長く，小麦は0.3～0.4mmで概ね平年並であった。
- ・下旬区の大麥の幼穂長は0.6～0.7mm，小麦は0.2mmであった。
- ・「シュンライ」は12月末に，「ミノリムギ」は2月初頭に幼穂形成始期に達したと推定される。

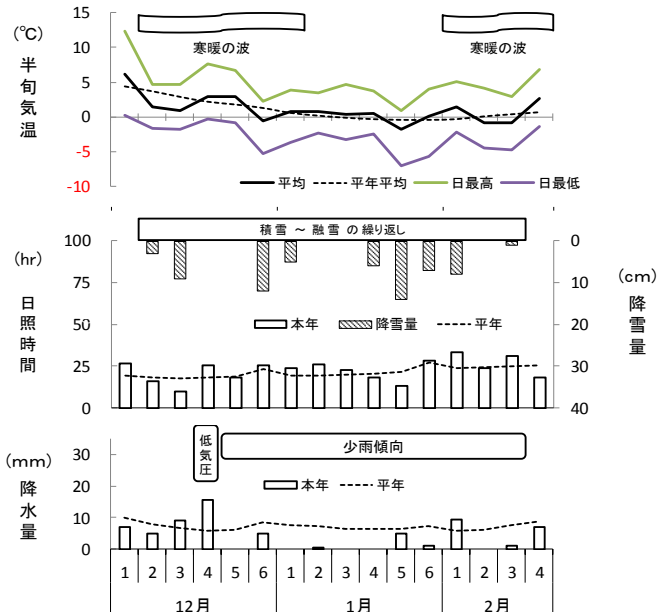


図1 気象経過 古川 AMeDAS

表2 生育状況(2月10日現在)

品種	区分 (月/旬)	草丈			茎数			葉数			
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	
		(cm)	(%)	(%)	(本/m ²)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)	
大 麦	シュンライ	10月中旬	14.1	-	135	1180	-	156	6.5	-	1.2
		10月下旬	8.4	-	-	855	-	-	4.3	-	-
	ミノムギ	10月中旬	13.7	-	125	1201	-	149	6.5	-	1.3
		10月下旬	8.9	-	-	859	-	-	4.9	-	-
小 麦	シラネコムギ	10月中旬	14.6	-	118	1490	-	178	6.8	-	1.3
		10月下旬	11.7	-	-	975	-	-	4.9	-	-
	夏黄金	10月中旬	11.3	-	-	1145	-	-	6.2	-	-
		10月下旬	9.7	-	-	575	-	-	4.3	-	-

品種	区分 (月/旬)	幼穂長			幼穂 分化 程度	幼穂形成始期			
		本年	前年差	平年差		本年	前年	平年	
		(mm)	(mm)	(mm)		(月/日)	(月/日)	(月/日)	
大 麦	シュンライ	10月中旬	1.5	-	0.4	Ⅷ	12/28	3/4	2/10
		10月下旬	0.7	-	-	Ⅵ	-	3/15	-
	ミノムギ	10月中旬	1.3	-	0.3	Ⅶ	2/4	3/14	2/22
		10月下旬	0.6	-	-	Ⅵ	-	3/16	-
小 麦	シラネコムギ	10月中旬	0.4	-	0.0	V未滿	-	3/27	3/18
		10月下旬	0.2	-	-	V未滿	-	3/31	-
	夏黄金	10月中旬	0.3	-	-	V未滿	-	3/26	-
		10月下旬	0.2	-	-	V未滿	-	3/31	-

注1) 積雪による欠測のため、前年値(比・差)はない。

注2) 10月中旬播種の平年比(差)は、前年及び平成25年播種を除く過去6か年中の中庸4か年の平均値との比較。

注3) 10月下旬区は平成29年播種から、「夏黄金」の10月中旬播種は平成28年播種から供試のため、平年値はない。

注4) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

注5) 幼穂分化程度: V期未滿は省略。

注6) 越冬前目標生育量: 葉数4~5枚, 分けつ1~2本, 茎数400~500本/m²

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

区 分	苞分化期		小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VI	VII	VIII	IX	X	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0		
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0		

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはⅦ期は「前・後期」に、Ⅸ期は「前・中・後期」に区分される。

平成 30 年播種(平成 31 年産)麦類生育調査ほ生育状況[2 月 10 日調査結果]

表 4 平成 30 年播種(平成 31 年産)麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種	実施場所	畑転換	排水対策	播種期	播種量	条間
			年数	(明渠、暗渠等)	(月/日)	(kg/a)	(cm)
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	20	暗渠	11/8	0.8	30.0
	ミノリムギ	大河原町金ヶ瀬	4	暗渠	11/7	0.8	30.0
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	1	暗渠, 明渠	11/3	1.0	30.1
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	1	暗渠	10/19	0.9	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10	明渠, 暗渠	12/3	1.2	-
	夏黄金	涌谷町猪岡短台	1	明渠, 暗渠	11/2	1.0	22.5
登米	あおばの恋	登米市豊里町	17	弾丸暗渠	11/15	-	23.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	10/20	1.0	28.5
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	10/19	1.0	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	11/1	1.0	24.3

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表 5 麦類生育調査ほ 生育状況(2 月 10 日現在)

担当普及 センター	品種名	実施場所	草丈				茎数			幼穂長
			本年 (月/日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	11/8	5.8	74	71	287	181	85	-
大河原	ミノリムギ	大河原町金ヶ瀬	11/7	8.9	102	113	530	209	181	-
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	11/3	12.1	-	-	354	-	-	1.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/19	9.1	102	85	664	365	92	0.4
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	12/3	4.7	62	55	271	129	51	-
美里	夏黄金	涌谷町猪岡短台	11/2	8.1	195	95	607	330	181	-
登米	あおばの恋	登米市豊里町	11/15	7.5	115	-	104	46	-	-
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/20	12.4	175	114	939	370	246	1.1
石巻	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/19	14.2	214	134	650	534	148	1.3
石巻	シラネコムギ	石巻市小船越	11/1	14.1	252	108	518	207	63	0.0

注1) 平年値は、過去7か年中、中庸5か年の平均値。

注2) 大和町「ホワイトファイバー」は、平成30年播種から調査のため、平年値および前年値はない。

注3) 登米市「あおばの恋」は、平成28年播種からほ場変更のため、平年値がない。

注4) 幼穂長の「0」は、観察の結果、幼穂を確認できなかったことを、「-」は未調査であることを示す。

<生育状況等に関する担当農業普及センターのコメント>

大河原

- ・「ミノリムギ」の生育は順調
- ・「シュンライ」のほ場については、冬損（冬枯れ）の症状が見られた。降雨が少なく、風も強い日があったことから、乾燥の影響と思われる。

仙台

- ・現在5葉抽出中で幼穂は1.0mm程度。
- ・ほ場の大半で寒害による黄化が認められるが、生育量及び生育ステージは「シュンライ」の平年値並に推移。

大崎

- ・生育は概ね順調であるが、白鳥による食害が多く見られた。

美里

- ・白鳥による食害あり。

登米

- ・大豆後の麦播種である。11月15日の播種後降雨が無かったために土壌水分が不足し出芽に時間を要し、出芽揃いは12月20日となった。
- ・2月8日調査では、生育は遅れており、分けつは確認されていない。
- ・白鳥やガン等による食害がみられる。

石巻

- ・草丈は大麦、小麦ともに平年を上回った。莖数と幼穂長は大麦で平年を上回ったが小麦は播種が平年より遅れたこともあり、莖数は平年を下回り、幼穂は確認できなかった。
- ・概ね生育は順調だが、「ミノリムギ」と「シラネコムギ」のほ場において鳥害が見られた。なお、調査区の被害は小さかった。